

2025年のXアンケート結果

アンケート集計時のインプレッションが22万

→およそ**22万人がこのアンケートを目にした**と考えられる

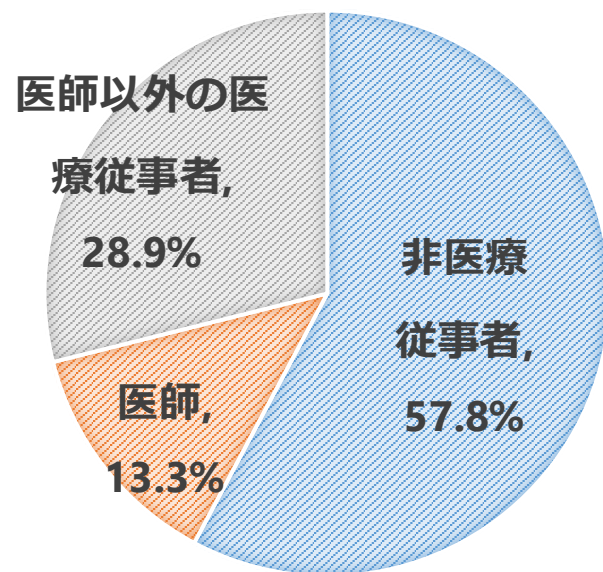
回答者はおよそ**6千人**

疾患や症状について「耳鼻咽喉科の診療範囲かどうか」を尋ねた。

選択肢は「耳鼻咽喉科の診療範囲である」「耳鼻咽喉科の診療範囲ではない」
の2択。

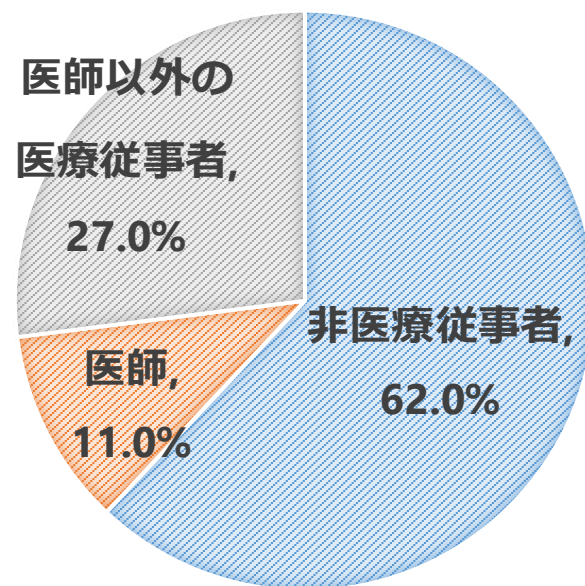
回答者背景

2021



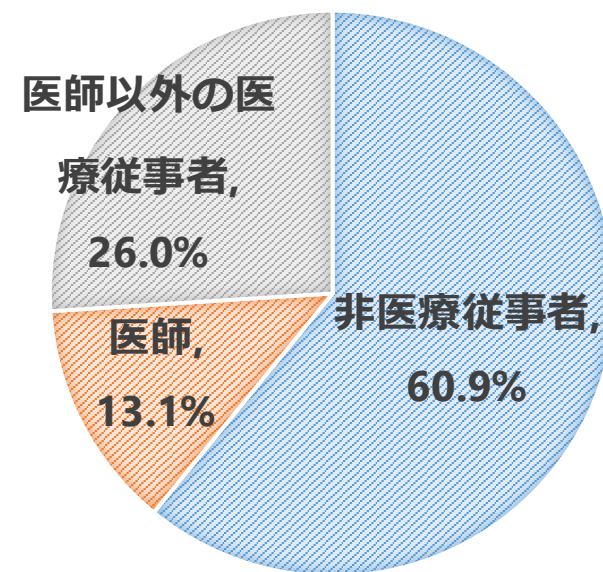
N=9339

2023



N=10299

2025

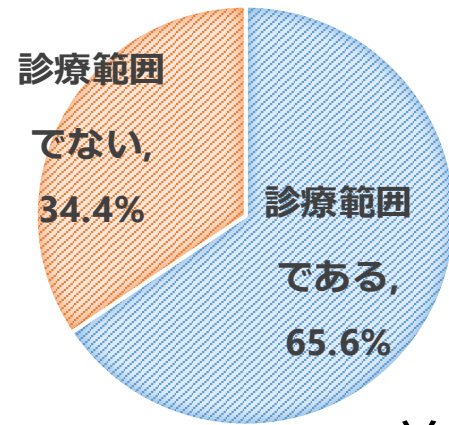


N=5977

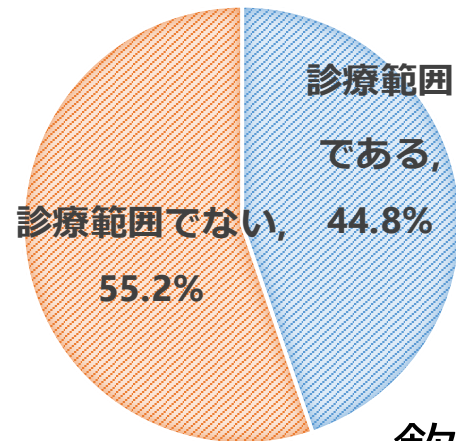
過去の施行よりも回答者が減少した。Xのアルゴリズム変更の影響と思われる。

回答の抜粋：2021

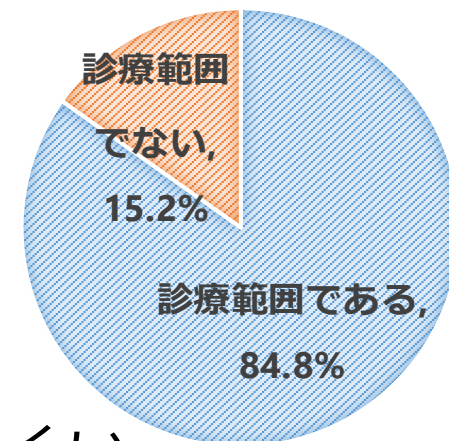
舌癌



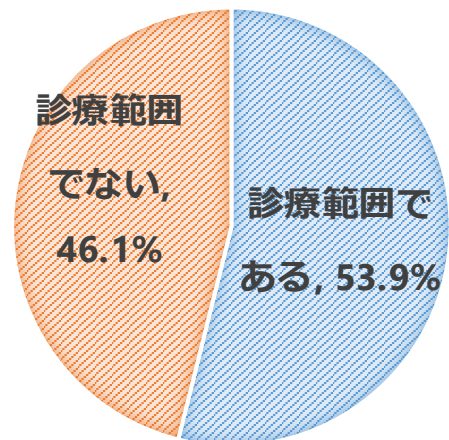
顔面神経麻痺



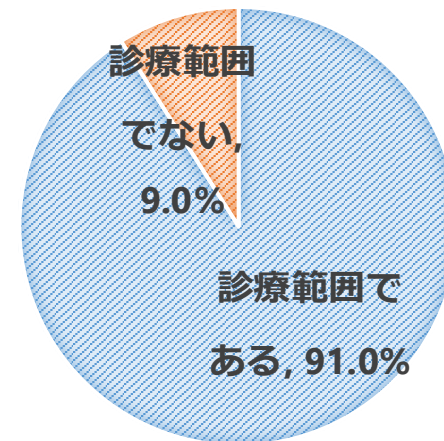
めまい



首のしこり

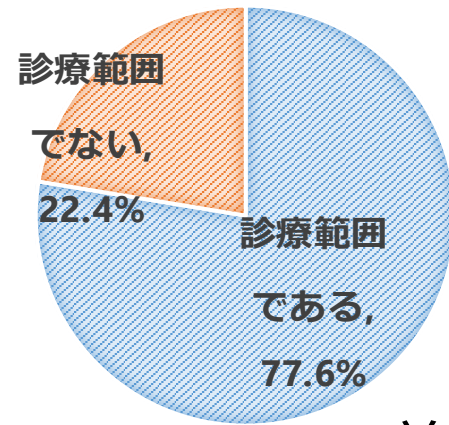


飲み込みにくい

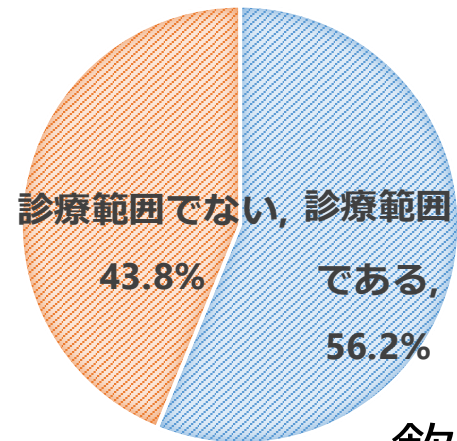


回答の抜粋：2025①

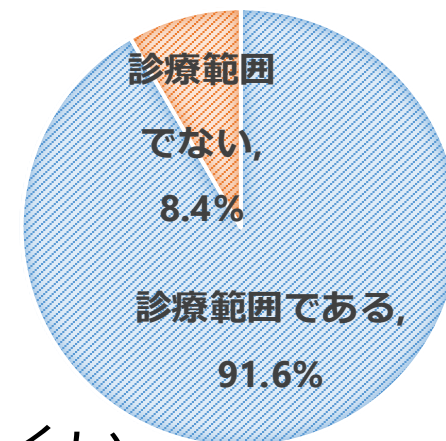
舌癌



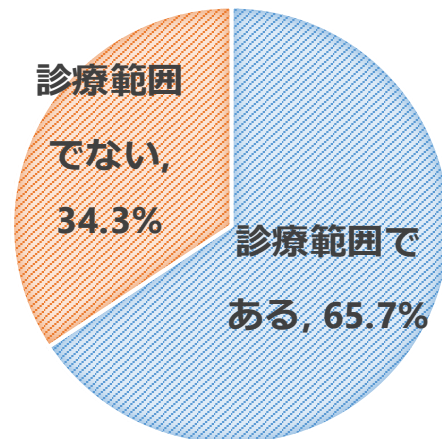
顔面神経麻痺



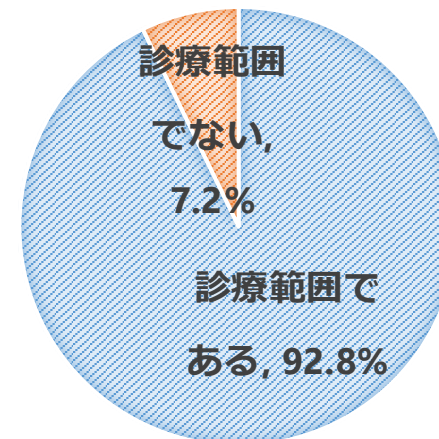
めまい



首のしこり



飲み込みにくい



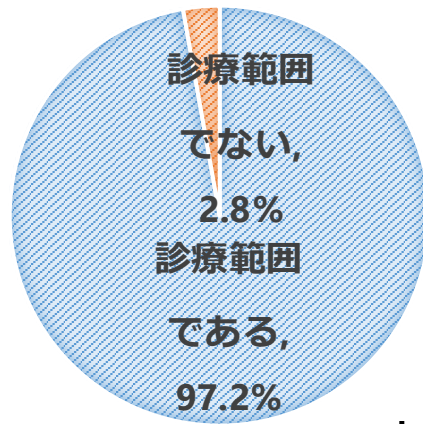
疾患認知度の変化（％）

	2021	2025
舌癌	65.6	77.6
顔面神経麻痺	44.8	56.2
首のしこり	53.9	65.7
めまい	84.8	91.6
飲み込みにくい	91.0	92.8

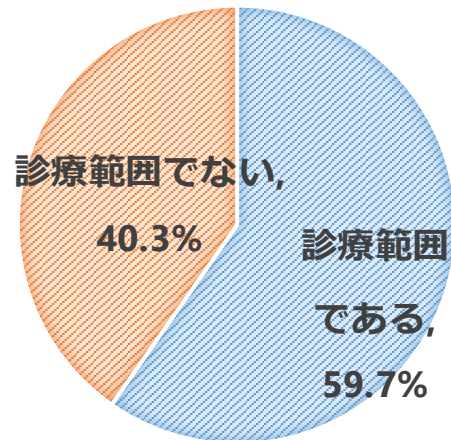
いずれも上昇
している

回答の抜粋：2025②

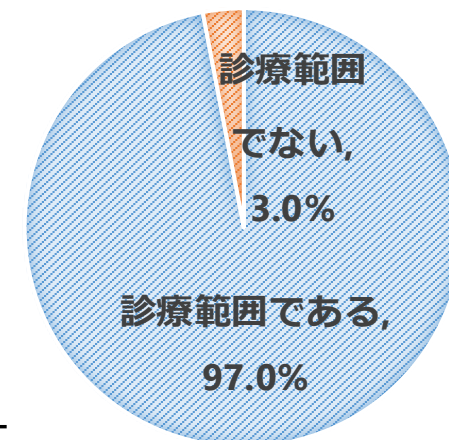
喉頭癌



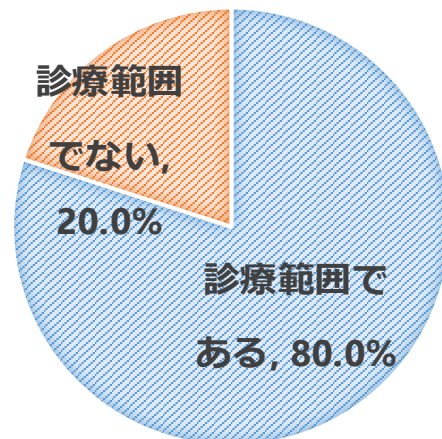
甲状腺癌



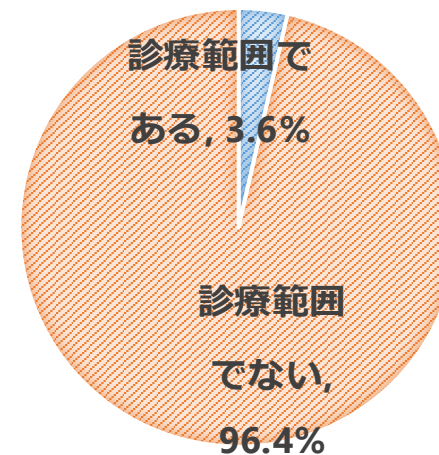
声がかすれる



味覚障害



胃癌



アンケートまとめ

- 2021年と比較して2025年は全体的に認知度が上昇していた。
- めまい・嚥下障害・嗄声・喉頭癌などは高い認知度が確認された。
- 顔面神経麻痺や味覚障害、舌癌・頸部腫瘤・甲状腺癌といった疾患については引き続き認知向上に努めていく必要があると考えられた。